

Data
Information
Intelligence

知恵作りのマネジメント®を支援します。
Management Solutions
Intelligence for Management

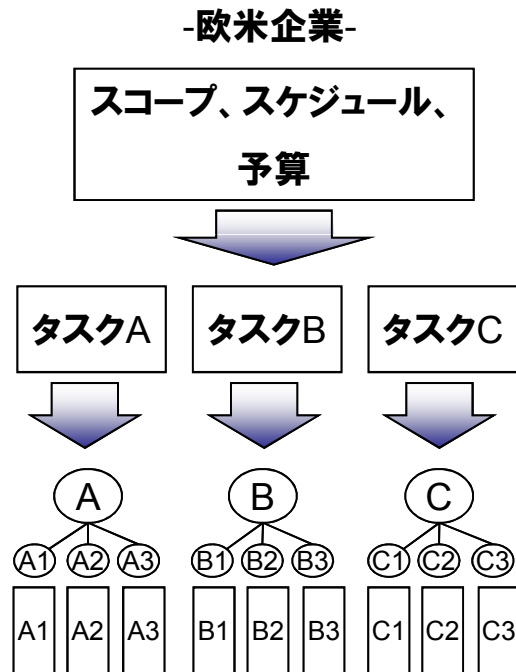
実行責任を負わないコンサルタントと違い、
弊社のチェンジマネジメントは、導入定着化までしっかりサポート。
知恵作りのマネジメント®を支援します。

PMO Solutionについて

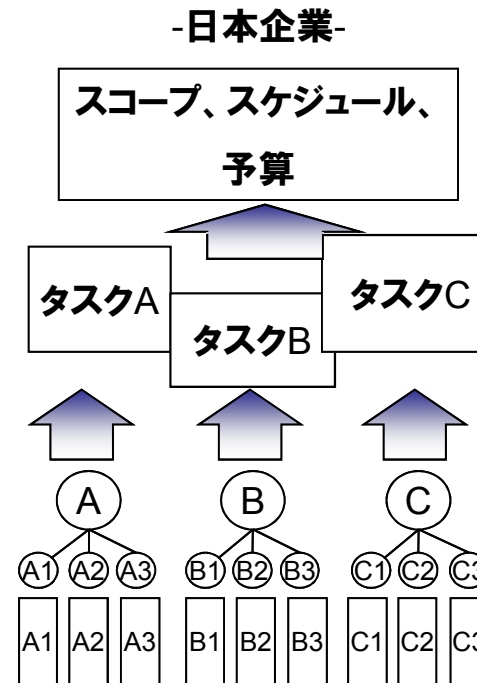
株式会社マネジメントソリューションズ

なぜプロジェクトマネジメントは普及しないのか？

- ✓ PMBOK等によるプロジェクトマネジメントの普及はここ数年伸びてきましたが、現場の定着が難しく、遅延・品質不良の原因を生み出しています。**われわれはその原因を、「日本企業の現場力の強さ」にあると考えています。**



メリット : 個別の役割明確化
デメリット : 全体に対する積極性不足



メリット : 全体に対する積極性
デメリット : 役割の不明確さ

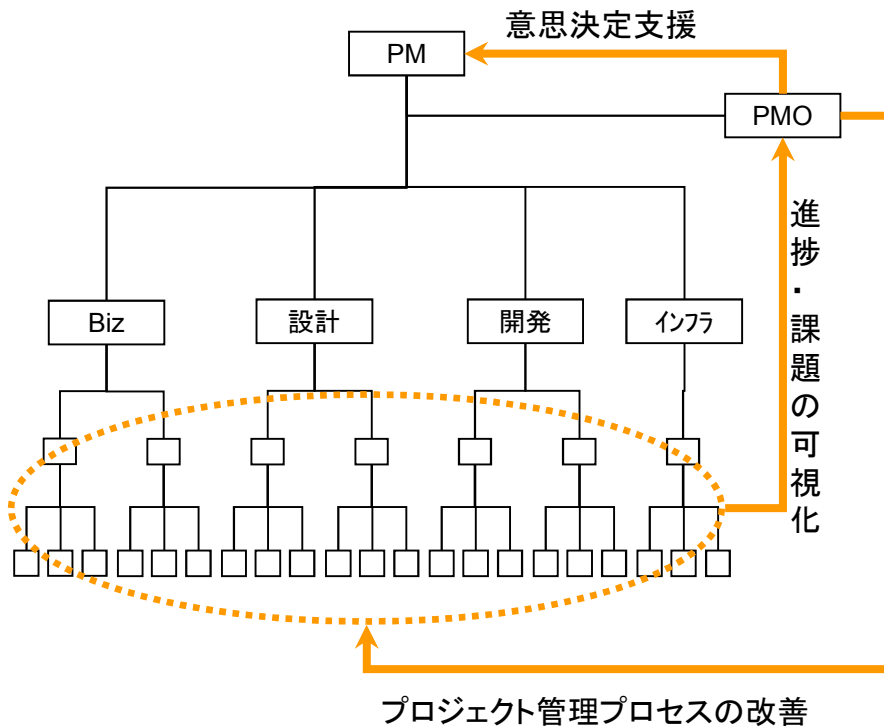
プロジェクトが進行するに従い生じる課題に対して全体調整機能が働く

⇒ 「見える化」を行わなければ、全体に流され、プロジェクトマネージャーの意思決定に悪影響を及ぼす

PMOの存在意義

- ✓ プロジェクト全体の進捗や課題を可視化し、プロジェクトマネージャーの意思決定支援を行う組織であるPMOはプロジェクトマネジメントの成熟度を向上させる上で効果を発揮します

【PMOの役割】



【PMOの権限と責任】

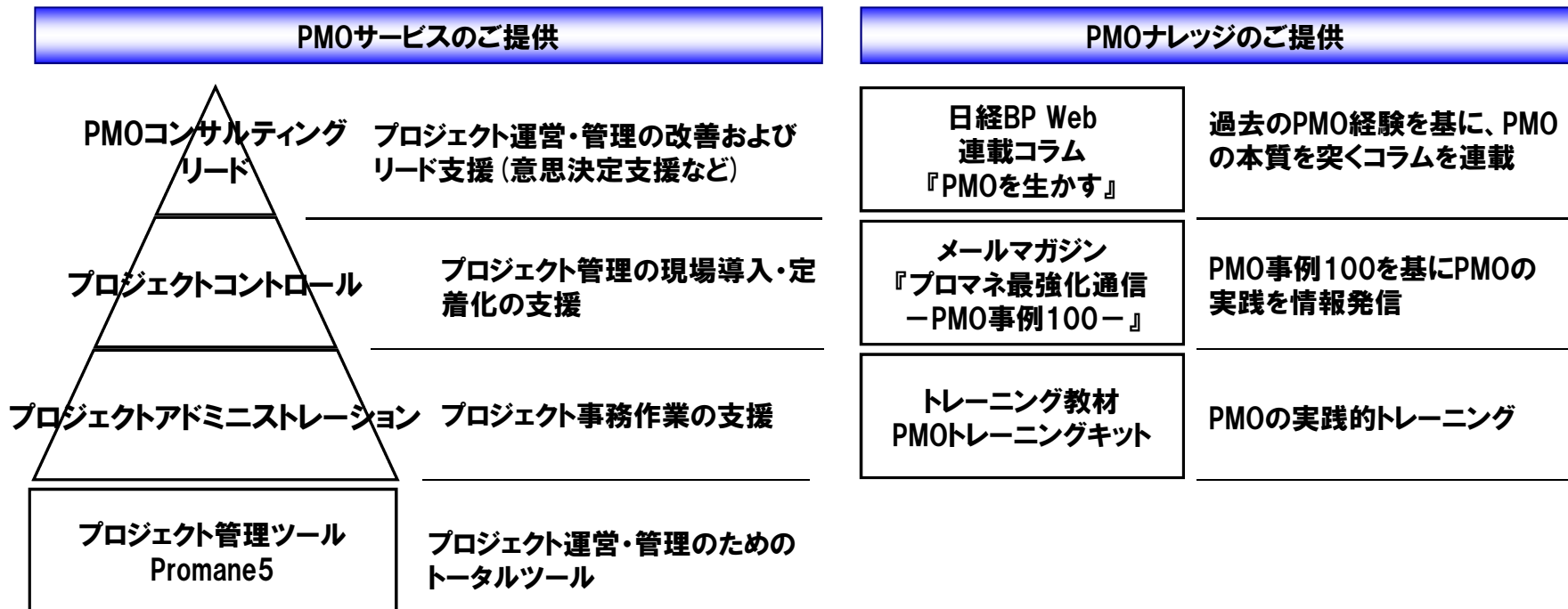
	権限	責任
プロジェクトマネージャ /プロジェクトリーダー	人事、予算	PJ完了責任 納期、予算、品質
チームリーダー	作業指示、評価	チームの作業完了責任 モチベーション、作業管理
PMO	プロジェクト品質についての是正	生産性向上（特にマネジメントの意思決定プロセス、現場の管理プロセス）

【PMOと他チームとの違い】

	作業範囲	成果物	スケジュール	メンバーのスキル
他チーム	明確	納品成果物がほとんど	明確	特定業務のスキルが必要
PMO	多岐にわたる	納品成果物とならないものが多い	継続的な作業が多い	幅広いスキルが必要

PMOソリューション全体像

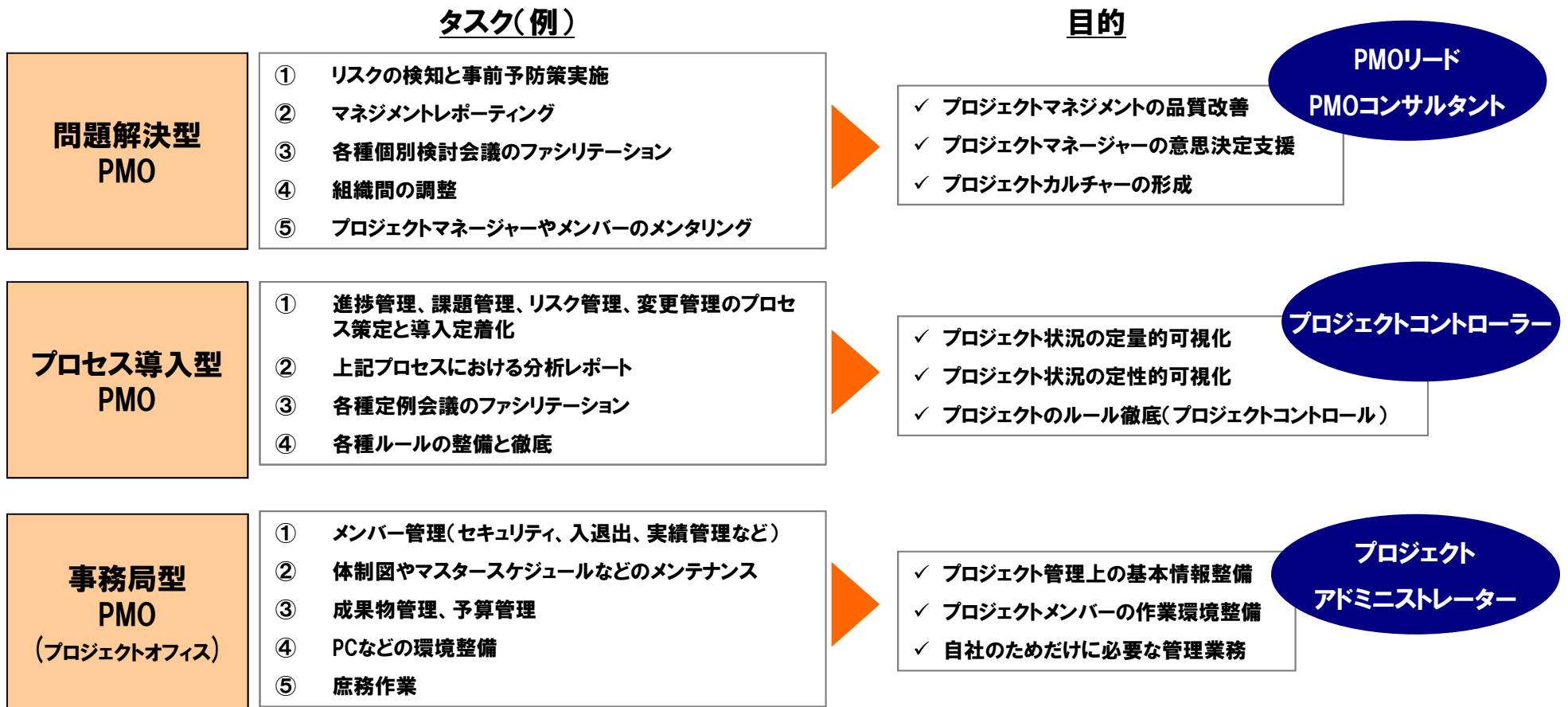
- ✓ 弊社では数々のPMO支援の実績からノウハウを体系立て、様々な形でのソリューションをご提供しております



PMOトータルソリューション

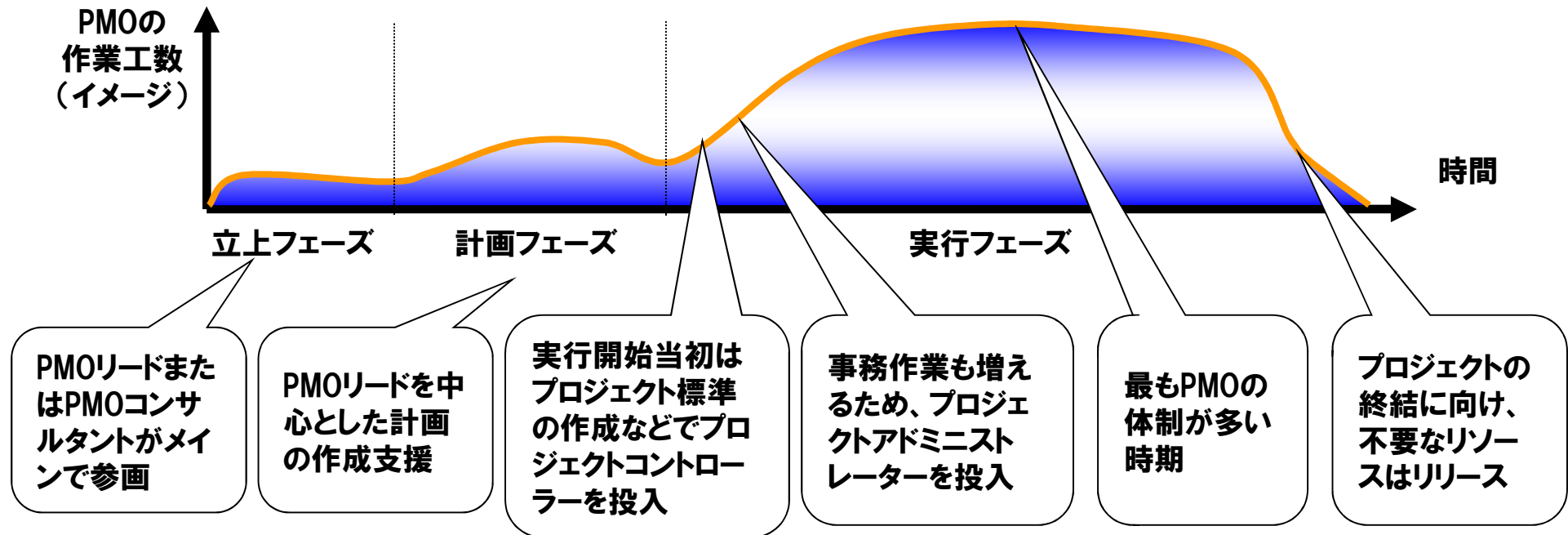
PMOソリューションサービス内容

✓ 弊社ではPMOの役割を3つの階層に分け、それぞれの必要なすべてのタスクに対し、適切なサービスをご提供します



プロジェクトライフサイクルに合わせたサービス

- ✓ 弊社ではプロジェクトライフサイクルに適切な人数でのPMOサービスをご提供しております



プロジェクト立上当初からPMOを設置することで、プロジェクトリスクを軽減し、プロジェクトを成功に導きます



PMO事例100からの抜粋

納期遅れに対し、進捗報告の質と頻度の向上により、更なるスケジュール遅延を防止。

プロジェクト概要	SCMシステムの開発プロジェクト。需要予測、生産計画、資材調達、資材管理の4システムをそれぞれ異なる会社に委託し開発。	期間	1年
		人数	80名以上

状況

✓ それまで順調と報告を受けていたC社にて障害が多発し、予定していたスケジュールでは完成しないことが判明

納期に間に合わないので再スケジュールさせて下さい

障害が多発発生しテストが終わりません

こちらは順調なのにC社のためにまたテストしなきゃいけないなあ

Xさんが入院してしまって手が足りません

C社のデータがもらえずテストできません

課題

☹️ 納期をずらし再スケジュールしたとしても、それが守られるか分からない

解決策

- ☆ 個別障害単位での徹底した進捗管理実施
- ☆ 日次の早朝進捗会議開催と夕方の状況確認実施

前日は予定より1件多く、▲△の障害も完了しました。本日は○×傷害が完了予定です

前日の解消実績はどうですか？本日解消予定はどの障害ですか？

早朝進捗会議

PM PMO

A社 B社 C社 D社

夕方の状況確認

C社

PMO

予定通り今晚には完了する見込みです

本日完了予定の○×の障害は終わりましたか？

効果

😊 進捗報告頻度を増加させ、管理強化によりさらなるスケジュールの遅延を防止

共通フォーマット、エスカレーションルールを策定することで、チーム横断的な課題の解決を促進。

プロジェクト概要	Global ERP導入プロジェクト	期間	2年
		人数	100名強

状況

✓ チーム毎に独自の課題管理シート・ルールで運用している

異なるフォーマット、記載ルール

チームA 課題 (XXX)

チームB 課題 (YY)

この案件はチームBの作業も必要なんだけど、どうやって管理していけばいいのかな？

以前依頼したときは忘れていたし、ちゃんと課題管理しているのかな？

課題

☹️ チーム横断的な課題の管理ができず、解決がはかどらない

解決策

☆ 共通の課題管理フォーマットを作成

☆ チーム横断的な課題のエスカレーションルールを策定

エスカレーションルールに従って行おう。これでチームBの対応状況もわかるな

チームA 課題 (XXX)

課題起票 → エスカレーション → 進捗会議 → 課題Close

共通フォーマット、それぞれでステータス管理

チームB 課題 (XXX)

課題リストへ転記 → 対応&課題Close → 課題Close

効果

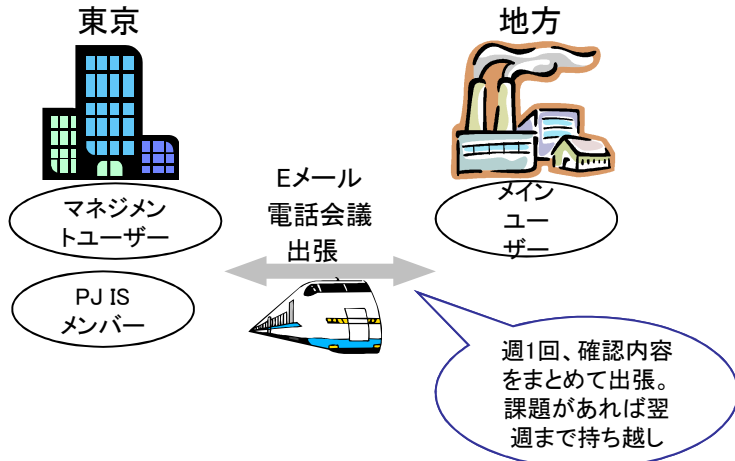
😊 チーム横断的な課題の解決が促進された

ユーザーの近くにPJ環境を立ち上げ、コミュニケーションGapを解消し、スケジュール遅延を回避。

プロジェクト概要	ERPパッケージ（SCM領域）の導入プロジェクト	期間	1年半
		人数	100名弱

状況

✓ メインユーザーと作業場所が離れていたため、週数回の出張で要件定義を進めていた

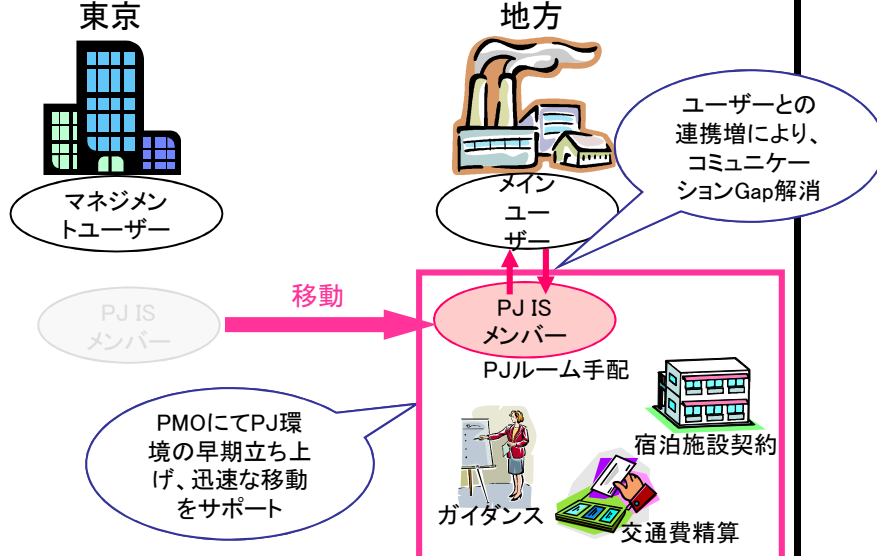


課題

☘ 要件定義で、ユーザーとのコミュニケーションGapが顕在化

解決策

☆ メインユーザーのロケーションに、PJ環境を早期に立ち上げ（PJルーム、宿泊施設手配など）、全メンバー移動



効果

☺ ユーザーとの連携が深まり、Gapが解消し、スケジュール遅延を回避。またPJ全体に一体感が出た（コストに見合う対価あり）

お問い合わせ先



info@mgmtsol.co.jp